

## 取扱説明書 ホームシアターオーディオシステム 品番 SC-HTB200

安全上のご注意

はじめに

準備する

楽しむ

必要なとき



### 保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3 ~ 5 ページ) を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

# 目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください。(→ 3~5ページ)

はじめに

準備する

楽しむ

必要なとき

無線機能使用上のお願い .....	6	故障かな! ? .....	18
同梱品.....	7	ランプが点滅したら.....	20
本機 .....	7	仕様.....	21
付属品 .....	7	お手入れ .....	22
各部の名前と働き .....	8	廃棄 / 譲渡するとき.....	22
本体 .....	8	本機で再生できるデジタル信号 .....	22
設置のしかた .....	9	著作権など .....	22
リモコン .....	9	保証とアフターサービス (よくお読みください) .....	23
接続する .....	10		
テレビと接続する .....	10		
電源コードを接続する .....	12		
Bluetooth® を使って接続する .....	13		
テレビや映画、音楽を楽しむ .....	14	ソフトウェアの利用に関し順守すべき 事項について	
サウンドモードを選ぶ .....	14	本製品および本アプリをご利用いただくお客様に対し、当社は以下の内容※に関わる注意事項をサイトで公開・周知しています。	
一時的に音を消す .....	14	●本製品に内蔵のソフトウェアの更新	
必要に応じて操作・設定する .....	15	●アプリなどを通じて当社が提供するサービス	
二重音声放送の切り換え .....	15	●パーソナルデータの収集・利用・第三者への提供	
音声信号を確認するには .....	15	●当社以外の第三者が運営するサービス	
自動電源オフ機能 .....	15	●ソフトウェアライセンスの表示	
Bluetooth® スタンバイ .....	15	●当社以外の第三者と連携する本製品の機能およびサービス	
音量制限機能 .....	16	※ 製品により一部の内容しか該当しない場合があります。詳しくは下記のサイトをご覧ください。 <a href="https://panasonic.jp/support/audio/">https://panasonic.jp/support/audio/</a>	
ランプの調光機能 .....	16		
リモコンモードの切り換え .....	16		
HDMI CEC を使う .....	17		
入力自動切り換え / 電源オン連動 .....	17		
電源オフ連動 .....	17		
音量調節 .....	17		
スピーカー切り替え .....	17		

## 本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを(⇒〇〇)で示しています。
- 本書ではリモコンの操作を中心に説明しています。

## 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。

特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。



音のエチケット  
シンボルマーク

# 安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



## 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



## 注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

## ！ 警告

### 異常・故障時には直ちに使用を中止する

#### 異常があったときには、電源プラグを抜く



電源プラグ  
を抜く

- ・煙が出たり、異常ににおいや音がする
- ・音声が出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・電源プラグが異常に熱い
- ・本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源プラグがすぐ抜けるよう、本機は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置してください。
- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

### 電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)



傷んだまま使用すると、感電やショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

### コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

### 雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない



感電の原因になります。

#### 接触禁止

### ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因になります。

#### ぬれ手禁止

### 電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

### 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

# 安全上のご注意（必ずお守りください）（続き）

## ⚠ 警告

### 分解、改造をしない



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

#### 分解禁止

### コイン電池は誤った使いかたをしない



- 指定以外の電池を使わない
- ⊕と⊖は逆に入れない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など高温の場所で充電・使用・放置しない
- 金属性のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

### コイン電池を飲み込まない



化学的反応による傷害があります。

- 付属のリモコンのリチウムコイン電池を飲み込むと、2時間たらずで重大な体内損傷を引き起こし、死に至ることがあります。
- 新しい電池および使用済み電池は、子供の手の届かないところに保管してください。
- 電池収納部のホルダーがしっかり閉まらない場合は、製品の使用を中止し、子供の手の届かないところに保管してください。
- 万が一、飲み込んでしまった、または飲み込んだ疑いがある場合は、すぐに医師の診断を受けてください。

### ねじ類やコイン電池、落下・転倒防止ワイヤー用ねじは、乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

### 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特に子様にはご注意ください。

### 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す



そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

### 長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する



長期使用により設置場所の強度が不足すると落下してけがの原因になります。

### 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しない



本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあります、誤動作による事故の原因になります。

### 病院内や医療用機器のある場所で使用しない



本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあります、誤動作による事故の原因になります。

### 心臓ペースメーカーを装着している方は本機を装着部から15 cm以内で本機を使用しない



本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

# ⚠ 注意

## コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

## 不安定な場所に置かない



- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。  
●また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

## 本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

## 放熱を妨げない



内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 本機は、本棚やラックの中など狭い空間に設置しない
- 放熱孔をふさぐような場所で使用しない
- 放熱孔を新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで覆って放熱を妨げない

## テレビ台やラックなどに置いたり、テレビの前に置いて使うときは、落下・転倒防止処置をする



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

- 落下・転倒防止処置は必ず工事専門業者にご依頼ください。

## 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

## 異常に温度が高くなるところに置かない



温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

## 長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す



液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

## 長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く



通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

## 電源プラグを抜く

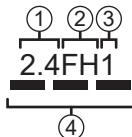
# 無線機能使用上のお願い

## ■使用周波数帯

内蔵無線機器は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

## ■周波数表示の見かた

周波数表示は定格銘板に記載しています。



- ① 2.4 GHz 帯を使用
- ② 変調方式が FH-SS 方式
- ③ 電波与干渉距離 10 m 以下
- ④ 2.402 GHz ~ 2.480 GHz の全帯域を使用

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーテーションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：パナソニック  
DIGA（ディーガ）・オーディオ  
ご相談窓口（⇒裏表紙）

## ■機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- ・分解／改造する
- ・定格銘板を消したり、はがしたりする

## ■使用制限

内蔵無線機器の使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。

制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線機器の使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- ・日本国内でのみ使用できます。
- ・磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。

- － 電子レンジ
- － 携帯電話
- － その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く（ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）
- － 電波が反射しやすい金属物などの近く

・電波によるデータの送受信は、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があり傍受される可能性があります。

・すべての Bluetooth® 機器との無線通信を保証するものではありません。

・無線通信する Bluetooth® 機器は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であれば、一部動作する場合がありますが、機器の仕様や設定により、接続できないことがあります。操作方法・表示・動作を保証するものではありません。

・Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。

・ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

## ■使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。

間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

- ・放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。
- ・無線 LAN を使用中に Bluetooth® 機器の音が途切れたり雑音が入る場合は、無線 LAN のご使用をお控えください。

## ■用途制限

内蔵無線機器は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途\*での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

\*ハイセイフティ用途：きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のこと。

例：原子力施設における核反応制御／航空機自動飛行制御／航空交通管制／大量輸送システムにおける運航制御／生命維持のための医療機器／兵器システムにおけるミサイル発射制御、など

# 同梱品

## 本機

### □ 本体（スピーカー）（1個）

品番：SC-HTB200



## 付属品

付属品をご確認ください。

### □ リモコン（1個）

品番：N2QAYC000127

- お買い上げ時は、コイン電池が入っています。



### □ 電源コード（1本）

品番：TSXA174



### □ HDMI ケーブル（1本）

品番：RSQ0158  
(1.5 m)



- 付属品の品番は、2018年4月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。  
また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。  
パナソニックの家電製品直販サイトでお買い  
求めいただけるものもあります。  
詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトを  
ご覧ください。  
パナソニックグループのショッピングサイト  
<https://ec-plus.panasonic.jp/>



## ■ ソフトウェアの更新

動作の改善や、新機能の追加のため、当社は本機のソフトウェアを必要に応じて更新しています。  
詳細については下記のサイトをご覧ください。  
<http://panasonic.jp/support/audio/>

本機の定格板は、本体底面に貼付されています。

本製品（付属品を含む）に表示の記号は以下を示しています。

～ AC（交流）

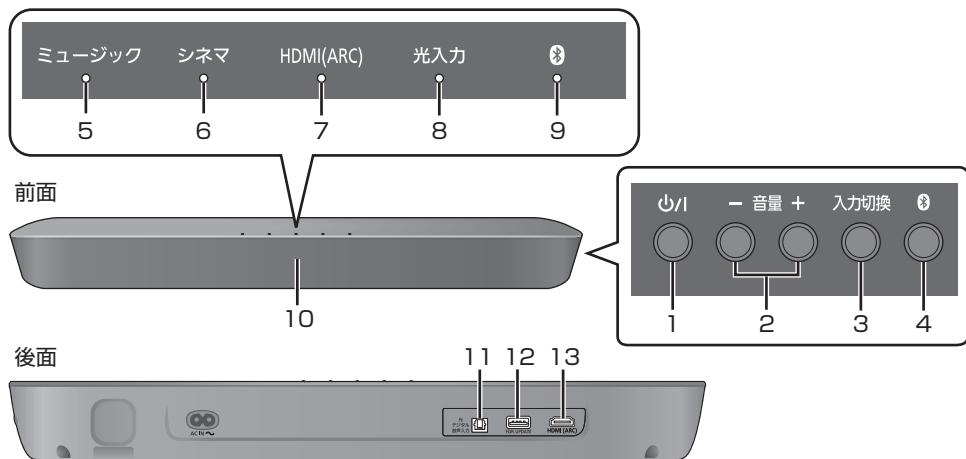
回 クラス II 機器（二重絶縁構造）

| 入（ON）

↓ 切（スタンバイ）

# 各部の名前と働き

## 本体



- 1 [↓ / I] 電源を入／切する
- 2 [- 音量 +] (⇒ 14)  
音量を調節する: 0 (最小) ~ 100 (最大)
- 3 音源を選択する  
• 押すたびに切り換わります。
  - HDMI(ARC) : (⇒ 14)
  - ↓
  - 光入力 : (⇒ 14)
  - ↓
  - Bluetooth® : (⇒ 14)
- 4 Bluetooth® 機器を音源に選ぶ (⇒ 14)  
Bluetooth® 機器とペアリングする (⇒ 13)  
Bluetooth® 機器との接続を解除する (⇒ 13)
- 5 ミュージックランプ (⇒ 14)
- 6 シネマランプ (⇒ 14)
- 7 HDMI (ARC) ランプ
- 8 光入力ランプ
- 9 Bluetooth® ランプ
- 10 リモコン受信部
- 11 光デジタル音声入力端子 (⇒ 11)
- 12 USB 端子 (ソフトウェア更新用)
- 13 HDMI (ARC) 端子 (ARC 対応) (⇒ 10)

### お知らせ

- 電源「↓」(切:スタンバイ) 状態でも、電源は完全には切れません。長期間使用しないときは、節電のため、電源プラグをコンセントから抜いておくことをお勧めします。電源「↓」(切:スタンバイ) 状態でも、電力を消費しています。

## 設置のしかた

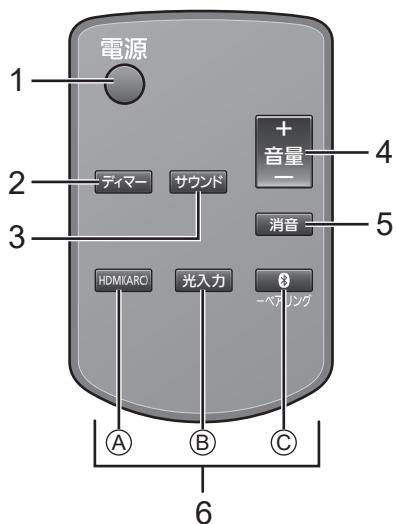


本体はテレビ台やラックの上など、水平で平らな場所に設置する。

### ■テレビの前に設置するとき

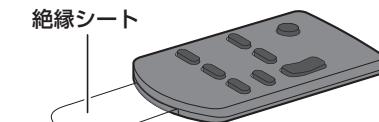
本体がテレビの各種センサー（明るさセンサーなど）や、リモコン受信部、3D 対応テレビの「3D グラス用発信部」を遮る可能性があります。各種センサーなどが正常に動作する位置まで、本体をテレビから離してください。

# リモコン



- 1 [電源] 電源を入／切する (⇒14)
- 2 [ディマー] ランプの光量を調節する (⇒16)
- 3 [サウンド] サウンドモードを選ぶ (⇒14)
- 4 [+音量+] 音量を調節する (⇒14)
- 5 [-音量-] 音量を一時的に消す (⇒14)
- 6 音源を選択する
  - Ⓐ HDMI (ARC) 接続した機器を音源に選ぶ (⇒14)
  - Ⓑ 光接続した機器を音源に選ぶ (⇒14)
  - Ⓒ 本機に接続された Bluetooth® 機器を音源に選ぶ (⇒14)
- ・本機に接続する Bluetooth® 機器とペアリングする (⇒13)
- ・本機に接続された Bluetooth® 機器との接続を解除する (⇒13)

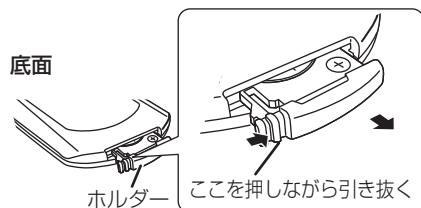
絶縁シートを引き抜いてからお使いください。



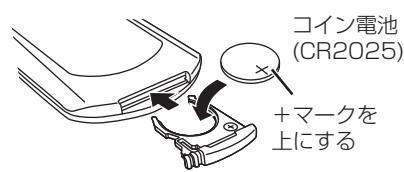
- 引き抜いた絶縁シートは、適切に処理をしてください。

## ■コイン電池を交換する

- ①ホルダーを引き抜く



- ②電池を入れてホルダーを戻す



## ■リモコン受信部について

リモコン受信部は本体にあります。 (⇒8)

リモコンは下記の受信範囲内で使用してください。  
本体正面 約7 m以内、左右 各約30°

## お知らせ

- ・電波の干渉を避けるため、本機と同じ周波数 (2.4 GHz 帯) の他の電気機器（無線 LAN や携帯電話およびその他の電気機器）とは 2 mほど距離を置いてください。
- ・テレビに色ムラが生じる場合は、テレビの電源を約 30 分切ってください。  
それでも直らない場合は、本体をテレビと離して設置してください。

# 接続する

- 接続するときは、各機器の電源を切ってください。
- 接続するテレビや各機器の取扱説明書もご覧ください。  
すべての接続が完了するまで、各機器の電源コードをコンセントに接続しないでください。



## 付属以外の HDMI ケーブルをご使用される場合

- ・HDMI ケーブルは「High Speed HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

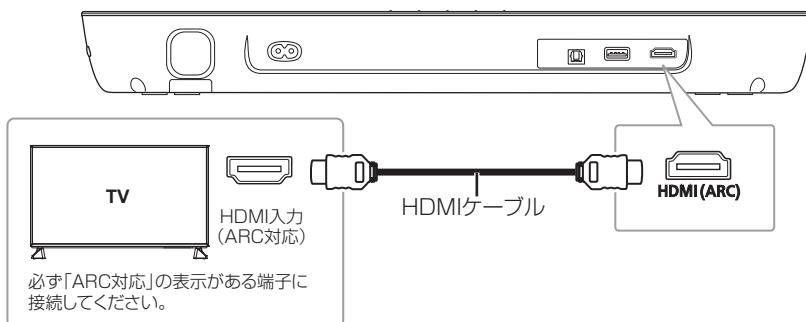
## テレビと接続する

以下の条件によりテレビとの接続方法が異なります。

- テレビの HDMI 入力端子に「ARC 対応」の表示がある場合
- テレビの HDMI 入力端子に「ARC 対応」の表示がない場合

### 「ARC 対応」表示あり

本体(背面)

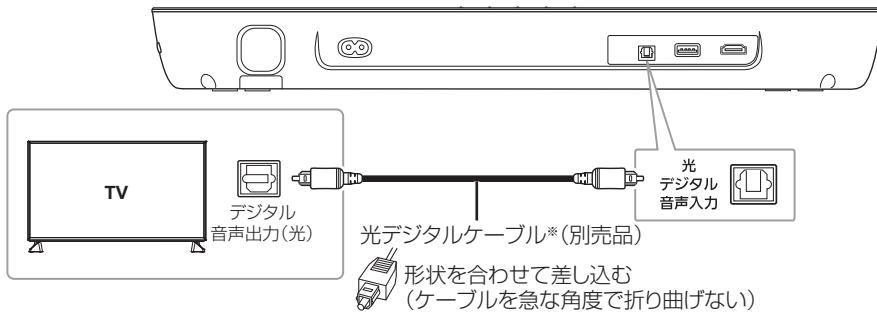


#### ARC とは?

- ・ARC とは オーディオ リターン チャンネル Audio Return Channel の略称で、HDMI ARC とも呼ばれ、HDMI が持つ機能の一つです。「ARC 対応」と書かれた端子と本機を HDMI 接続すると、従来テレビからの音声を聴くために必要だった光デジタルケーブルが不要になり、HDMI ケーブル 1 本でテレビの映像と音声が楽しめるようになります。
- ・他社製テレビで、ARC 対応であるにもかかわらず音声が本機に出力されないときは、光デジタルケーブルが必要な場合があります。テレビの取扱説明書をご覧ください。

## 「ARC 対応」表示なし

本体(後面)



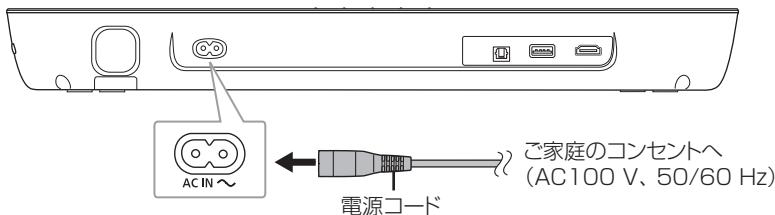
- ・本機でマルチチャンネル再生を楽しむ場合は、レコーダーやプレーヤー、およびテレビの音声出力からピットストリーム / Bitstream が出力される設定にしてください。
- ・本機に入力される音声信号は最大5.1 チャンネルです。  
(本機に入力される音声信号は接続機器により異なります。)

# 接続する（続き）

## 電源コードを接続する

電源コードは必ず最後に接続してください。

本体（背面）



- 本機は、電源を切った状態でも電力を消費しています（⇒ 21）。  
長期間使用しないときは、節電のために電源プラグをコンセントから抜いておくことをお勧めします。  
電源プラグを抜くときは、必ず先に本機の電源を切ってください。
- 約 20 分間何も操作せず、音声も出ていないとき、本体は自動的にスタンバイ状態に切り替わります。  
この機能をオフにするには、「自動電源オフ機能」（⇒ 15）を参照してください。

# Bluetooth® を使って接続する

本機は Bluetooth®(ブルートゥース)技術を使用していますので、スマートフォンなどの Bluetooth® 機器の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。

- Bluetooth® 機器に付属されている説明書などもお読みください。

## 準備する

- 本機と Bluetooth® 機器の電源を入れ、機器を本機に近づける。
- Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機能を有効にします。
- 本機と他の Bluetooth® 機器が接続されている場合、その機器の接続を先に解除してください。(下記参照)

## Bluetooth® 機器を登録する

### 1 [Bluetooth] を押して「Bluetooth」(Bluetooth®)を選ぶ

「Bluetooth」ランプが速く点滅している場合、  
⇒手順 3へ

### 2 [Bluetooth] を押して「Bluetooth」ランプが速く点滅するまで押したままにする

「Bluetooth」ランプがゆっくり点滅している場合  
(約 2 秒間隔)、手順 2 を繰り返す。

### 3 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、機器名(SC-HTB200)を選ぶ

- 機器名が表示される前に MAC アドレス(例: 6C:5A:B5:B3:1D:0F)が表示される場合があります。
- パスキーの入力を要求された場合は「0000」(ゼロ 4 つ)または「1234」を入力してください。
- 本機と Bluetooth® 機器が接続されると、「Bluetooth」ランプが点灯します。

・本機に登録できる Bluetooth® 機器は最大 8 台です。最大登録数を超えて登録すると、接続した順番が古いものから上書きされるため、Bluetooth® 機器の登録が消去されることがあります。再度、お使いいただくには登録をやり直してください。

## 登録済みの Bluetooth® 機器を接続する

### 1 [Bluetooth] を押して「Bluetooth」(Bluetooth®)を選ぶ

「Bluetooth」ランプが点灯している場合は、Bluetooth® 機器がすでに接続されています。別の Bluetooth® 機器を接続する場合は、現在の接続を解除してください。(⇒下記)

### 2 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、機器名(SC-HTB200)を選ぶ

#### ■接続を解除するには

[Bluetooth] を「Bluetooth」ランプがゆっくり点滅(約 2 秒間隔)するまで押したままにする

準備する

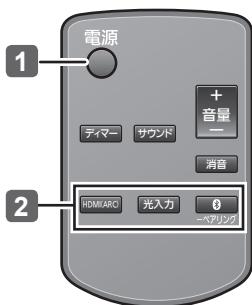
## お知らせ

- ・同時に接続できる Bluetooth® 機器は 1 台です。
- ・「Bluetooth」を音源として選択すると、本機は最後に接続していた Bluetooth® 機器と接続しようとします。
- ・接続が途切れた場合は、再度接続し直してください。
- ・本機を操作するときは、本機が見える位置で行ってください。
- ・別の音源(「HDMI (ARC)」)を選択すると、Bluetooth® 機器との接続は切断されます。

# テレビや映画、音楽を楽しむ

## 準備する

- テレビや接続した機器の電源を入れる。



## 1 [電源]を押して、本体の電源を入れる

## 2 音源を選ぶ

### 本体で操作する場合

ボタン	音源
[入力切替]	「HDMI(ARC)」→「光入力」 ↑ 「Bluetooth」 ←
[Bluetooth]	「Bluetooth」

### リモコンで操作する場合

ボタン	音源
[HDMI (ARC)]	「HDMI (ARC)」
[光入力]	「光入力」
[Bluetooth]	「Bluetooth」

## 3 本機の音量を調整する

### [+音量 -]を押す

調整範囲: 0 (最小) ~ 100 (最大)

- ・音量を調整するたびに、「ミュージック」、「シネマ」、「HDMI (ARC)」、「光入力」ランプが左から右 (+)、または右から左 (-) に順番に点滅します。
- ・最大値または最小値に到達するとサウンドモードランプは点滅しません。



- 接続している機器の操作はできません。  
(テレビの音量など)

## ■「Bluetooth」を選択した場合

本機に接続している Bluetooth® 機器で再生の操作を行ってください。

## ■「光入力」を選択した場合

テレビと本体が光デジタルケーブルを使って光接続されていることを確認してください。(⇒ 11)

## サウンドモードを選ぶ

リモコンの [ サウンド ] を押す

サウンドモード	ランプ
スタンダード ドラマやバラエティなどに最適なモードです。	ミュージック シネマ ○ ○
ミュージック 楽器や歌を広がりのある音で楽しめます。	ミュージック シネマ ※ ○
シネマ* 映画ならではの立体感や迫力のある音を楽しめます。	ミュージック シネマ ○ ※

\*お買い上げ時の設定です。

・設定は再度切り換えるまで保持されます。

## 一時的に音を消す

### [ 消音 ] を押す

・消音中は LED ランプが全て点滅します。

・もう一度押すと解除されます。

・本体の電源を切ると消音は解除されます。

# 必要に応じて操作・設定する

## 二重音声放送の切り換え

二重音声放送の主音声、副音声を切り換えることができます。

リモコンの [消音] を 4 秒以上押したままにする  
(以下のランプが点滅します)

音声の種類	ランプ
主音声*	ミュージック 
副音声	HDMI(ARC) 
主音声+副音声	ミュージック + HDMI(ARC) 

※お買い上げ時の設定です。

- ・テレビの音声出力がビットストリーム (AAC) に設定されている場合に働きます。
- ・操作後約 5 秒で通常の表示に戻ります。

## 自動電源オフ機能

入力信号がない状態で約 20 分以上操作をしなかった場合に、自動的に本機の電源を切る機能です。下記の操作で有効、無効を切り換えることができます。

リモコンの [HDMI (ARC)] を 4 秒以上押したままにする  
(以下のランプが点滅します)

自動電源オフ機能	ランプ
「有効」*	ミュージック 
「無効」	HDMI(ARC) 

※お買い上げ時の設定です。

- ・操作後約 5 秒で通常の表示に戻ります。
- ・設定は再度切り換えるまで保持されます。

## 音声信号を確認するには

本機が接続先の機器から受信している音声信号を確認することができます。

リモコンの [サウンド] を 4 秒以上押したままにする  
(以下のランプが点滅します)

音声信号の種類	ランプ
ドルビーデジタル	ミュージック 
DTS®	シネマ 
PCM	HDMI(ARC) 
AAC	光入力 

- ・操作後約 5 秒で通常の表示に戻ります。

- ・接続したテレビから非対応の音声信号を受信している場合、点滅するランプの種類が異なることがあります。
- ・本機の入力が「」(Bluetooth®) のときは、音声信号が表示されません。

## Bluetooth® スタンバイ

この機能を有効にしているとき、登録済みの Bluetooth® 機器から Bluetooth® 接続すると、自動的に本機の電源が入り、音源に「」(Bluetooth®) が選ばれます。

リモコンの [光入力] を 4 秒以上押したままにする  
(以下のランプが点滅します)

Bluetooth® スタンバイ	ランプ
「有効」	ミュージック 
「無効」*	HDMI(ARC) 

※お買い上げ時の設定です。

- ・操作後約 5 秒で通常の表示に戻ります。
- ・設定は再度切り換えるまで保持されます。
- ・電源コードを外した場合、Bluetooth® スタンバイ機能が働かなくなることがあります。再度設定してください。

楽しむ

# 必要に応じて操作・設定する（続き）

## 音量制限機能

本機には、過大出力を制限する「音量制限機能」があります。この機能を使うと、電源「切」時に50を超えた音量になっていた場合は、次回電源「入」時には音量が50に設定されます。下記の操作で機能を使わない設定にできます。

リモコンの【ディマー】を4秒以上押したままにする

（以下のランプが点滅します）

音量制限機能	ランプ
「有効」*	ミュージック 点滅
「無効」	HDMI(ARC) 点滅

\*お買い上げ時の設定です。

・音量制限機能を「入」の状態に戻すには、上記の操作を

繰り返してください。

・設定は再度切り換えるまで保持されます。

## ランプの調光機能

本機には、一定時間無操作状態が続くと自動的にランプの光を抑える機能があります。下記の操作でランプの光を常に明るく保つことができます。

リモコンの【ディマー】を押す

（点灯しているランプの光が明るくなります）

・設定は再度切り換えるまで保持されます。

・お買い上げ時の設定は「入」です。

・ランプの調光機能を「入」の状態に戻すには、上記の操作を繰り返してください。設定後、ランプの光が暗くなります。

## リモコンモードの切り換え

本機のリモコンで、他の当社製オーディオ製品が動作してしまうときは、本機とリモコンのリモコンモードをリモコンモード2に変更してください。

### 準備する

- 他の当社製オーディオ製品の電源を切る。
- 本体の電源を「入」にする。

リモコンの【サウンド】と【＊】を4秒以上押したままにする

モード	ランプ				
リモコンモード1*	ミュージック 点滅	シネマ ○	HDMI(ARC) 点滅	光入力 点滅	＊
リモコンモード2	ミュージック ○	シネマ 点滅	HDMI(ARC) 点滅	光入力 点滅	＊

\*お買い上げ時の設定です。

・必ずリモコンを本体へ向けてください。

・「リモコンモード1」に戻す場合は、リモコンの【＊】と【ディマー】を4秒以上押したままにしてください。

# HDMI CEC を使う

本機は HDMI CEC (Consumer Electronics Control) に対応しています。  
各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

## 準備する

- 正しく HDMI 接続がされているか確認する (⇒ 10)

## 【 入力自動切り換え / 電源オン連動】

テレビの電源を入れると、本体も自動的に電源が入り、本機の音源は HDMI になります。

- 光入力または「」(Bluetooth®) が音源の場合は、動作しません。

## 【 音量調節】

テレビのリモコンを使用して、本機の音量を調節できます。

## 【 電源オフ連動】

テレビの電源を切ると、本体の電源も自動的に切れます。

- 光入力または「」(Bluetooth®) が音源の場合は、動作しません。

## 【 スピーカー切り換え】

電源が入ると、音声は自動的に本機のスピーカーから出力されます。

本機の電源が切れると、テレビのスピーカーに切り換わります。

テレビのメニュー操作でスピーカーを切り換えることもできます。

## お知らせ

- 本機は HDMI CEC に対応していますが、すべての HDMI CEC 対応機器との動作保証をするものではありません。

楽しむ

# 故障かな!?

故障かな?と思ったら以下の項目を確かめてください。

それでも直らないときや、症状が載っていないときは販売店にご相談ください。

## 本機の設定をお買い上げ時の状態

### (工場出荷設定)に戻すには

- 本機の動作がおかしいと思われる場合、一度お買い上げ時の状態に戻すと、症状が改善されることがあります。

- ① 本体の電源を「入」にする
  - ② 本体の [↓ / I] を 4 秒以上押したままにする  
(本機が再起動するまですべてのランプが点滅します)
- お買い上げ時の設定に戻ります。
  - 本機のリモコンモードが「1」に設定されます。必要に応じてリモコンモードを再設定してください。(⇒ 16)

## 共通

### 電源が入らない。

電源プラグを接続したあとは、電源を入れる前に約 10 秒間待ってください。

- ・電源プラグを抜いたときは、約 10 秒待ってから接続直してください。
- ・本体の電源ボタンを押してもすぐに電源が切れてしまう場合は、電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。
- ・テレビ(ビエラ)の HDMI CEC 機能で本体の電源が入らないときは、手動で本体の電源を入れてください。

### 本体の電源が自動的に切れてしまった。

- ・本体では入力信号がなく、無操作状態が約 20 分続くと、自動的に電源を切る機能があります。(自動電源オフ機能)  
この機能を使わない設定にできます。(⇒ 15)

### 点灯・点滅していた本機のランプが消えてしまった。

- ・本機ではランプの点灯・点滅によって機能の状態を一定時間表示します。点灯・点滅後に消灯しても本機の故障ではありません。

## リモコン

### リモコン操作ができない。

- ・絶縁シートを抜いてください。(⇒ 9)
- ・電池が消耗している場合は電池を交換してください。(⇒ 9)
- ・電池を交換後、リモコンモードの再設定が必要な場合があります。(⇒ 16)
- ・本機の受信部とリモコンの間に障害物がありませんか。  
(⇒ 9)

### 本機のリモコンで、他の当社製オーディオ製品が動作してしまう。

- ・本機とリモコンを、「リモコンモード 2」に設定してください。  
(⇒ 16)

## Bluetooth®

### Bluetooth® 機器が登録できない。

- Bluetooth® 機器の状態を確かめてください。
- Bluetooth® 通信使用可能距離（約 10 m）を超えていませんか。Bluetooth® 機器を本機に近づけてください。

### Bluetooth® 機器と無線接続されない。

- Bluetooth® 機器が登録されていないか、Bluetooth® 機器から本機の登録情報が消去された可能性があります。登録をやり直してください。（⇒ 13）
- 本機が他の Bluetooth® 機器と接続されていませんか。他の Bluetooth® 機器の電源を切ってください。
- 本機の電源を「切／入」してください。

### Bluetooth® 機器と接続されているが、本機から音が出ない。

- お使いの Bluetooth® 機器によっては音声出力を本機に設定しないと音が出ません。Bluetooth® 機器に付属されている説明書などをお読みください。

### 音が途切れる / 音が飛び / 雑音が多い。

- Bluetooth® 通信使用可能距離（約 10 m）を超えていませんか。Bluetooth® 機器を本機に近づけてください。
- Bluetooth® 機器と本体の間に障害物がありませんか。障害物を避けてください。
- 他の 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用している機器（電子レンジ／ワイヤレス LAN／携帯電話など）が電波干渉している可能性があります。Bluetooth® 機器と本体を近づけ、他の干渉機器を遠ざけてください。

上記の操作を行っても問題が解決しない場合は、本体と Bluetooth® 機器を再度接続し直してください。（⇒ 13）

## HDMI

### HDMI CEC 関連の機能が働かなくなってしまった。

- 接続した機器の HDMI CEC の設定を確かめてください。
  - HDMI CEC の効果を切っていないか。  
  テレビの HDMI CEC 設定でスピーカーを本機に変更してください。
- HDMI 機器の接続変更、停電、コンセントの抜き差しが原因の可能性があります。以下を試してみてください。
  - HDMI ケーブルで接続したすべての機器の電源を入れた状態で、テレビ（ビエラ）の電源を入れ直す。
  - テレビ（ビエラ）の HDMI CEC の設定を一度「切」にしたあと、再度入れ直す。詳しくはテレビ（ビエラ）の取扱説明書、電子説明書をご覧ください。
  - テレビ（ビエラ）と本機を HDMI ケーブルで接続してテレビ（ビエラ）の電源を入れ、そのまま本機の電源プラグを一度抜いてから接続し直す。

## 音声

### 機器の再生を始めても音（または映像）が出ない。

- 「消音」になっている場合、消音を解除してください。（⇒ 14）
- 機器が正しく接続されていますか。（⇒ 10,11）
- 本機で再生できる音声信号が確認してください。（⇒ 22）
- 本機の電源を「切／入」してください。
- テレビと HDMI 接続をしている場合は、テレビの HDMI 端子に「ARC 対応」と表示されているか確認してください。表示がない場合は、光デジタルケーブルを接続してください。（⇒ 10,11）
- 接続経路に問題がない場合、ケーブルの異常かもしれません。お手持ちの他のケーブルで、再度接続を試みてください。
- 入力信号を正しく選択してください。

### デジタル放送で二重音声放送の切り換えができるない。

- テレビの音声出力がビットストリーム（AAC）に設定されているか確認してください。（⇒ 15）

### 50 を超えた音量にして電源を切ると、次回電源を入れたとき音量が 50 になってしまう。

- 本機には、過大出力を制限する「音量制限機能」があります。この機能を使わない設定にできます。（⇒ 16）

### 音声が映像より遅れて聞こえる。

- Bluetooth® を使って本機とテレビを接続している場合、本機から出る音声はテレビの映像より遅れる場合があります。HDMI ケーブルまたは光デジタルケーブルで本機とテレビを接続してください。（⇒ 10,11）

### 受信している音声信号に対して、ランプが反応しない。

- 音声信号がドルビーデジタル、AAC または DTS® の場合、接続している機器（テレビ、プレーヤーなど）の音声出力の設定をビットストリームに設定してください。詳しくは接続している機器の取扱説明書をご覧ください。

### 音が出なくなった。電源が勝手に切れる。

（本機は異常を検出すると、保護回路が働いて電源を自動的に切れます）

- アンプの出力異常です。音量を下げ、電源の「切／入」をしてみてください。
- 著しく大きな音で聴いていませんか。または異常に暑い場所で使用していませんか。
  - ⇒ 音量を下げるなどして原因を解消し、しばらく待ってから再び電源を入れてください。（保護回路の動作が解除されます）

それでも症状が改善されない場合は、ランプの状態を控え、電源を切り、電源プラグを抜いたあと、お買い上げの販売店にご相談ください。

### 地上デジタル / BS 放送の番組で始めの数秒間の音声が再生されない。

- テレビ（ビエラ）の「デジタル音声出力」を「PCM」または「AAC」に変更してみてください。詳しくはテレビ（ビエラ）の取扱説明書、電子説明書をご覧ください。

# ランプが点滅したら

本機の状態は、各ランプの点滅によって示されます。下記に挙げる点滅はシステムの正常な動きを示しており、故障などの異常を示すものではありません。

点滅箇所	状態
ミュージック シネマ HDMI(ARC) 光入力 Bluetooth	<b>ミュージックランプが約 5 秒間点滅する</b> <ul style="list-style-type: none"><li>Bluetooth® スタンバイを「有効」に設定中です。(⇒ 15)</li><li>音量制限機能を「有効」に設定中です。(⇒ 16)</li><li>自動電源オフ機能を「有効」に設定中です。(⇒ 15)</li><li>入力している音声信号がドルビーデジタルです。(⇒ 15)</li><li>二重音声放送を主音声に設定中です。(⇒ 15)</li></ul>
ミュージック シネマ HDMI(ARC) 光入力 Bluetooth	<b>シネマランプが約 5 秒間点滅する</b> <ul style="list-style-type: none"><li>入力している音声信号が DTS® です。(⇒ 15)</li></ul>
ミュージック シネマ HDMI(ARC) 光入力 Bluetooth	<b>HDMI (ARC) ランプが約 5 秒間点滅する</b> <ul style="list-style-type: none"><li>Bluetooth® スタンバイを「無効」に設定中です。(⇒ 15)</li><li>音量制限機能を「無効」に設定中です。(⇒ 16)</li><li>自動電源オフ機能を「無効」に設定中です。(⇒ 15)</li><li>入力している音声信号が PCM です。(⇒ 15)</li><li>二重音声放送を副音声に設定中です。(⇒ 15)</li></ul>
ミュージック シネマ HDMI(ARC) 光入力 Bluetooth	<b>光入力ランプが約 5 秒間点滅する</b> <ul style="list-style-type: none"><li>入力している音声信号が AAC です。(⇒ 15)</li></ul>
ミュージック シネマ HDMI(ARC) 光入力 Bluetooth	<b>「Bluetooth」ランプが速く点滅する</b> <ul style="list-style-type: none"><li>本機が Bluetooth® 機器の登録待機状態です。(⇒ 13)</li></ul>
ミュージック シネマ HDMI(ARC) 光入力 Bluetooth	<b>「Bluetooth」ランプがゆっくり点滅する(約 2 秒間隔)</b> <ul style="list-style-type: none"><li>本機が Bluetooth® 機器との接続待機状態です (⇒ 13)</li></ul>
ミュージック シネマ HDMI(ARC) 光入力 Bluetooth	<b>「Bluetooth」ランプが点灯する</b> <ul style="list-style-type: none"><li>本機が Bluetooth® 機器と接続されています。(⇒ 13)</li></ul>
ミュージック シネマ HDMI(ARC) 光入力 Bluetooth	<b>ミュージックランプと HDMI (ARC) ランプが約 5 秒間点滅する</b> <ul style="list-style-type: none"><li>二重音声放送を主音声+副音声に設定中です。(⇒ 15)</li></ul>
ミュージック シネマ HDMI(ARC) 光入力 Bluetooth	<b>ミュージック、HDMI (ARC)、光入力、「Bluetooth」ランプが約 10 秒間点滅する</b> <ul style="list-style-type: none"><li>リモコンモードをモード 2 に設定中です。(⇒ 16)</li></ul>
ミュージック シネマ HDMI(ARC) 光入力 Bluetooth	<b>シネマ、HDMI (ARC)、光入力、「Bluetooth」ランプが約 10 秒間点滅する</b> <ul style="list-style-type: none"><li>リモコンモードをモード 1 に設定中です。(⇒ 16)</li></ul>
ミュージック シネマ HDMI(ARC) 光入力 Bluetooth	<b>再起動するまですべてのランプが点滅する</b> <ul style="list-style-type: none"><li>本機の設定がお買い上げ時の設定に戻りました。(⇒ 18)</li></ul>
すべてのランプが連続して点滅する	<b>すべてのランプが連続して点滅する</b> <ul style="list-style-type: none"><li>音声が消音されました。(⇒ 14)</li></ul>

# 仕様

## アンプ部（ステレオ）

総実用最大出力 80W (JEITA)  
実用最大出力： 40 W + 40 W 同時駆動 (JEITA)  
(6 Ω、1 kHz、全高調波ひずみ率 10%)

## 端子部

HDMI  
HDMI (ARC) 端子 (ARC 対応) : 1  
コネクタ： 19 ピン Type A 端子  
デジタル音声入力  
光デジタル音声入力端子： 1  
サンプリング周波数： 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz  
音声フォーマット：  
リニア PCM、Dolby® Digital、  
DTS Digital Surround™、AAC  
USB 端子： ソフトウェア更新用

## 総合

消費電力 15 W  
電源スタンバイ時の消費電力  
(すべての接続機器の電源：「切」時)  
Bluetooth® スタンバイを「無効」に設定時： 約 0.5 W  
Bluetooth® スタンバイを「有効」に設定時： 約 2.0 W

電源： AC100 V、50/60 Hz  
寸法(本体) (幅×高さ×奥行)： 450 mm×51 mm×135 mm  
質量(本体)： 約 1.6 kg  
許容動作温度： 0 °C ~ +40 °C  
許容相対湿度： 20%~80% RH (結露なきこと)

## Bluetooth® 部

バージョン： Bluetooth® Ver. 5.3  
送信出力： Class 2  
対応プロファイル：  
A2DP  
通信方式：  
2.4 GHz band FH-SS  
周波数帯域  
見通し通信距離：  
約 10 m  
最大RF出力  
4 dBm  
対応コーデック：  
SBC

## スピーカー部

フロントスピーカー (ビルトイン)  
フレレンジ：  
4 cm × 10 cm コーン型 × 1/ch

## お知らせ

- この仕様は、性能向上のために変更することがあります。

必要なとき

# お手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- ・汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- ・ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので、使用しないでください。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

## 廃棄 / 譲渡するとき

### ■ 本機の廃棄 / 譲渡について

本機にはお客様の操作に関する情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。

- ・本機を廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。(⇒18「本機の設定をお買い上げ時の状態(工場出荷設定)に戻すには」)
- ・本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

### ■ 電池の廃棄について

不要になった電池を捨てるときは、地域条例に従って処理してください。

ショートによる液もれ・発熱・破裂の原因になりますので、端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。

## 本機で再生できるデジタル信号

### ■ 音声信号

AAC	地上デジタル放送や BS 放送など
ドルビーデジタル	ブルーレイディスクや DVD など
DTS®	ブルーレイディスクや DVD など
LPCM (2 チャンネル)	CD や DVD オーディオなど
LPCM (マルチチャンネル)	ブルーレイディスクや DVD オーディオなど

## 著作権など

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

Dolby、ドルビー、Dolby Audio 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

For DTS patents, see <http://patents.dts.com>.

Manufactured under license from DTS, Inc.

DTS, Digital Surround, and the DTS logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and other countries.

© 2021 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

HDMI, High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。

パナソニックホールディングス株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。  
その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

- まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 ( ) -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!?(⇒18,19)」でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

● 製品名 ホームシアターオーディオシステム

● 品番 SC-HTB200

● 故障の状況 できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間: お買い上げ日から本体1年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

**技術料** 診断・修理・調整・点検などの費用

**部品代** 部品および補助材料代

**出張料** 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このホームシアターオーディオシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙のDIGA(ディーガ)・オーディオご相談窓口、修理ご相談窓口にご相談ください。

## 【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

必要なとき

## 「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、登録商品のサポートも充実  
詳しくはこちら <https://club.panasonic.jp/aiyo/>



### サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support>



#### DIGA (ディーガ)・オーディオ 使い方・お手入れなどのご相談窓口



0120-878-982 バナは キュウハチニ

受付時間  
9:00~18:00 月~土曜日  
(祝日・正月三が日を除く)

- 上記電話番号がご利用  
いただけない場合 06-6907-1187
- FAXフリーダイヤル ☎ 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan  
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787  
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)



#### 修理に関するご相談窓口



0120-878-554 バナは イイヨ

■上記電話番号がご利用  
いただけない場合 03-6633-6700



#### 便利な修理サービスサイト

<https://panasonic.jp/support/repair.html>

・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。  
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)

・ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。



### 愛情点検

長年ご使用のホームシアターオーディオシステムの点検を！



こんな症状は  
ありませんか？

- ・煙が出たり、異常なにおいや音がする
- ・映像や音声が出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・本体に変形や破損した部分がある
- ・その他の異常や故障がある

→  
ご使用  
中止

故障や事故防止のため、  
電源を切り、コンセントから  
電源プラグを抜いて、  
必ず販売店に点検をご相  
談ください。

パナソニック株式会社

パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2018-2022



TQBJ2098-6  
1202-0002168 M0318KZ6082